

教科の学習の概要 国 語 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	現代の国語	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の確認、構成分析、主題・大意の把握、設問の解法 ・ 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出 ・ 常用漢字の学習
		言語文化	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典講読・古文解釈・漢文訓読 ・ 問題演習・文法演習・百人一首解釈と鑑賞 ・ 文学作品の背景を調べる。
2 年	必修	現代文演習Ⅰ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の確認 構成分析 主題・大意の要約、設問の解法 ・ 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出 ・ 文学作品の背景を自ら調べる。 ・ 常用漢字の学習
		古典探究	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味・用法及び文の構造を理解すること。 ・ 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉えること。 ・ 基本的な助動詞・助詞の用法・意味、敬語法を理解し、古典の文章読解に役立てる。 ・ 基本的な句法を理解し、漢文の訓読 ・ 解釈に役立てる。
3 年	必修	現代文演習Ⅱ	2 (理系)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論理的な文章においては、論理の展開や要旨を的確にとらえるために、1・2年次にも学習した語句の確認、構成分析等の学習を行う。 ・ 文学的な文章については、構成や叙述の仕方に留意しながら、心情や情景、人物像を的確にとらえる。また、文学作品の時代的背景を自ら調べることで、作品をより広い視野から読み味わうことができるようにする。
	A型 自由選択		2 (文系)	
		理系選択 古典演習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解のために文脈を把握し、主体をしっかり捉えて読む。 ・ 文法、句法、単語をプリントや小テストで確認し、重要事項を授業中に修得するよう心がける。 ・ 問題演習を時期をみて行い、問題に慣れ、答えまでの筋道を理解する。

3 年	B 型 必修	古典講読 (古文分野)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古語の意味、用法を語源から掘り下げて理解する。 ・ 文章の構成や展開に即して主題要旨を捉える。 ・ 助動詞や助詞敬語法の理解を一層深め、表現に即してそのもつ意味を正確に理解する。 ・ 文学史上での作品の位置付けを理解する。 ・ 受験問題を実際に解き解法を学ぶ。
		古典講読 (漢文分野)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文を読んで内容を読み取れるようにする。 ・ 文脈把握のため主体をしっかりと捉えて読む。 ・ 予習時に得た読解内容や現代語訳を授業で確認する。 ・ 多読多義語、句法プリント等で重要事項を授業中に修得するよう心がける。 ・ 背景知識の定着のため意識して授業を聞き、総覧を活用する。 ・ 単元を修了するごとに問題演習を行い、問題への解答に慣れる。
	B 型 自由選択	小論文	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの「書く材料」探しをする。 ・ 各自の文章力のスキルアップのための課題に取り組む。 ・ 多様な出題に対する適応力を養うための課題に取り組む。 ・ 他の人の文章に触れることで、視野を広げ、思索を深める。
	B 型 自由選択	古典演習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古語の意味・用法を語源から掘り下げて理解する。 ・ 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。 ・ 助動詞や助詞・敬語法の理解を一層深め、表現に即してそのもつ意味を正確に理解する。 ・ 文学史の上でそれぞれの作品のもつ意義を理解する。 ・ 受験問題を実際に解き、解法を学ぶ。

教科の学習の概要 地理歴史 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	地理総合	2	地理情報システムや地図を活用し、現代世界や国際社会の特質を地理的に考察し、国際社会、地域社会に生きる公民としての資質・能力を養う。
2 年	必修	歴史総合	2	近代化、国際秩序の変化と大衆化、グローバル化を柱に近現代史を理解し、多面的・多角的に考察する力を養う。
		世界史探究	2	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について多面的・多角的に考察し、探究する。
		日本史探究	2	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について多面的・多角的に考察し、探究する。
3 年	B 型 必修選択	選択世界史	4	先史・古代から近世の通史を中心に学習する。
		選択日本史	4	原始・古代から江戸時代までの通史を中心に学習する。
		地理探究	4	系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的な見方や考え方を学習し、国際社会、地域社会に生きる公民としての資質・能力を養う。
	B 型 必修選択	世界史演習	2	近現代史を中心に学習し、演習を行う。
		日本史演習	2	近現代史を中心に学習し、演習を行う。
	A B 共通 自由選択	地理探究	2	系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的な見方や考え方を学習し、国際社会、地域社会に生きる公民としての資質・能力を養う。

教科の学習の概要 公 民 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	公 共	2	社会に参画する際に、選択・判断するための手掛かりとなる見方・考え方を学び、それを活用して法・政治および経済に関する課題の解決策を考察する。
3 年	自由選択	政治・経済	2	現代の政治・経済のしくみと歴史、課題について学習する。 国際政治・国際経済分野を先に取扱い、1年次公共での既習事項は、問題演習中心の授業とする。

教科の学習の概要 数 学 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1年	必修	数学I	3	(1) 数と式 (2) 集合と命題 (3) 2次関数 (4) 図形と計量 (5) データの分析
		数学II	1	(1) 式と証明 (2) 複素数と方程式 (3) 図形と方程式
		数学A	2	(1) 場合の数と確率 (2) 図形の性質 (3) 数学と人間の活動
2年	必修	数学II	3	(1) 三角関数 (2) 指数・対数関数 (3) 微分法と積分法 (4) I A II B演習 (5) 関数と極限
		数学B	2	(1) 数列 (2) 統計的な推測 (3) 平面上のベクトル
3年	A型 必修選択	数学III	4	(1) 微分法 (2) 微分法の応用 (3) 積分法 (4) 積分法の応用
		数学C	2	(1) 空間ベクトル (2) 式と曲線 (3) 複素数平面
		数学演習I	4	「入試必修問題集実戦」と「ニュースタンダード数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。
	A型 自由選択	数学演習II	2	「入試必修問題集実戦」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。
	B型 必修・自由 選択	数学 α	4	「ニュースタンダード数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、共通テスト形式の実践問題や過去問題の演習を通して、実践力の向上を図る。
		数学 β	4	「入試必修問題集実戦」を活用して、数学I・数学A・数学II・数学Bの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。

教科の学習の概要 理 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	生物基礎	3	「生物の特徴」「ヒトの体の調節」「生物の多様性と生態系」の3分野について学習する。
2 年	必修	物理基礎	3	「運動とエネルギー」「熱」「波（波の性質・音）」について、発展的な内容を含めて学習する。「電気」については、3年次（選択者）で学習する。
		化学基礎	3	物質の構成、物質の変化、有機化合物（脂肪族化合物）、物質とエネルギーについて学習する。
3 年	A 型 必修	化 学	4	有機化学、熱化学、反応速度、化学平衡、高分子化合物、天然物、無機化学について学習する。
	A 型 必修選択	物 理	5 (4)	力学、波（光）、熱と気体、電磁気、原子について学習する。物理基礎に比して、系統だった難解で高度な内容となる。
		生 物	5 (4)	「生物の進化」「生命現象と物質」「遺伝情報の発現と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」の5分野について学習する。
	B 型 必修・自由 選択	物理基礎演習	1	まず、物理基礎の内容を完結し、演習テキストを用いて大学入学共通テスト対応の演習を行う。
		化学基礎演習	1	原子の構造、化学結合、量的関係、酸・塩基、酸化還元について、実験を取り入れながら学習する。
		生物基礎演習	1	生物基礎の内容を一通り復習する。また、大学入学共通テストに対応するための演習を行う。
		地学基礎演習	1	今年度は開講しません。

教科の学習の概要 保健体育 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	体育	3	男女とも年間で球技（屋外種目・屋内種目）を5種目行う。その他に体づくり運動、水泳、陸上競技を行う。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。 1学期にスポーツテストを3時間程度実施する。
		保健	1	健康の考え方・健康の保持増進と生活習慣病予防・がんの原因と予防 精神の健康・交通安全・災害の発生と安全健康（応急手当）について学習する。
2 年	必修	体育	2	男女ともソフトボール、テニスを2クラス2展開で行う。 他に男女ともバスケットボール、バレーボール、バドミントン、水泳、長距離走、スポーツⅡを行う。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。 1学期に中心にスポーツテストを3時間程度実施する。
		保健	1	生涯の各段階における健康（妊娠、出産、結婚について）・保健、医療制度及び保健医療機関・環境問題・様々な保健活動対策について学習する。
3 年	必修	体育	2	屋内及び屋外の4種目を選択し、各グループで課題の設定と学習方法を計画して授業を展開する。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。1学期にスポーツテストを3時間程度実施する。

教科の学習の概要 芸術科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修選択	音楽Ⅰ	2	小中学校で扱わなかった分野の補遺。作編曲の基礎、鑑賞、器楽、歌唱、楽典基礎。実技と理論を結び付けた各種表現学習。
		美術Ⅰ	2	青高伝統の外苑イチョウ並木の写生に加え、立体制作やデザイン課題、色彩理論、技法学習等。発想と技法を結びつけた制作と鑑賞の両面を学習。
3 年	B型必修 自由選択B	音楽Ⅱ	2	音楽・保育系専門学校や音楽大学へ進学希望の者及び趣味に対応。和声学、ソルフェージュ、聴音、初見、ピアノ、様々な楽器。

教科の学習の概要 英 語 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	英語コミュニケーションⅠ	4	<ul style="list-style-type: none"> 英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能を向上させるために、語彙力を身に付け、様々な種類の英文を読み、読解力を養う。同時に、読解した内容について、情報や考えなどを英語で的確に表現する練習を行う。
		論理・表現Ⅰ	2	<ul style="list-style-type: none"> 英語による実践的なコミュニケーション能力向上のため、基礎的な英文法を習得する。特に、英文構成の基本を習得して、日常的な話題や社会的な話題について、話したり（やり取り・発表）、書いたりできるように練習を行う。
2 年	必修	英語コミュニケーションⅡ	3	<ul style="list-style-type: none"> 英語コミュニケーションⅠよりも量的、質的に高度の英文を読むことにより英語の理解力を高める。パラグラフのメインアイデアを捉えたり、トピックセンテンスを抽出したり、要約する練習を行う。 精読、速読の両面からのアプローチによって、英文理解を促進する。
		論理・表現Ⅱ	2	<ul style="list-style-type: none"> 文法・語法について、より難しい問題演習を数多くこなして、多様な問題に適応する力を養う。 和文英訳力、パラグラフライティングなどによって、英文構成力の伸長を図る。 リスニング、スピーキングにおいては、様々な分野に関する英文を正確に聞いて、プロットをまとめたり、意見を述べたりする練習を行う。
3 年	必修	コミュニケーション英語Ⅲ	4	<ul style="list-style-type: none"> 1, 2年での学習を土台に英語コミュニケーション力の完成を目指すと同時に、積極的に入試問題に取り組む。 長文問題では、その出題形式に慣れ、一定の時間内に解答し7割以上正解できるようにする。 共通テストの予想問題を実戦形式で時間を設定して解答し、8割以上の正解率を目指す。
		論理・表現Ⅲ	2	<ul style="list-style-type: none"> 1年次から学習してきた英文法全般を復習し、総合的な英語力の向上を図る。 英語の語法について学習し、正確な英語についての理解を深め、運用能力を高める。

				<ul style="list-style-type: none"> ・和文英訳問題にあたっては、複数の表現方法を学習することで、英語の表現力を向上させる。 ・リスニング力の向上を図ると共に、自由英作文にも取り組む。
3 年	自由選択	英語選択A	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は開講しません。
	自由選択	英語選択B	2	<ul style="list-style-type: none"> ・難度の高い長文の要旨を捉えると同時に、細部にわたって正確に理解し、入試問題に備える。 ・高度な語彙知識を身に付ける。 ・広範にわたる文法の知識を確実にし、読解に資するものにする。
	自由選択	英語選択C	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題や社会的な話題について、詳しく話して伝えることができるようにする。 ・入試におけるリスニング試験で高得点を取れるよう、ストラテジーを身に付ける。

教科の学習の概要

家 庭 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
2 年	必修	家庭基礎	2	<p>① 生きていく力（生活スキル）を身に付けさせると同時に生活課題を解決する力、生活向上を図る能力を育てる。</p> <p>② 衣食住と健康とのかかわりについて学習し、基本的な知識、技術を習得させる。</p> <p>③ 家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活と福祉について理解し、男女が協力して家庭を築くことの重要性を学ぶ。</p> <p>④ 消費生活と、法教育に関する基礎的な知識を身に付ける。</p>

教科の学習の概要

情 報 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	情 報 I	2	① 情報社会を生きていく中で必要な情報の特徴を理解し、情報化が社会に及ぼす影響を学ぶ。 ② 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に利用して情報を収集、処理、表現するとともに、情報社会で効果的に情報技術を活用する力を身に付ける。 ③ 情報社会に積極的に参画する態度を身に付ける。